イオンモールは日本全国に渡り約80の拠点に充電スタンドを設置しました。

率先して充電を日本に

小売拠点に市民へのEV充電手段提供の要となる役割を持たせることで、EV100のメンバーが率先して彼らの店舗やモール全体に渡り、顧客がEVに充電できるようにしつつあることを私たちは大いに嬉しく思っています。78の拠点にほぼ1,200に達する充電スタンドを設置したショッピングモールのデベロッパー、イオンモールは、日本のパイオニアです。

充電用インフラへのアクセスは、EV100のメンバーにとっての障害となっているのみならず、一般市民にとっても問題です。自分の車に家庭や職場で充電できない人々にとって、公共的充電スタンドのないことは走行距離不安の基となり、EVへの切り替えをためらわせてしまいます。

> EV充電スタンドの設置により、お客様がEVへ切り替えるー助になればと願っています。これはグローバルな環境保護と持続可能な社会への移行に向けた私たちの取り組みの一環です。
>
> **Shu Adachi**、 イオンモール、CSR プロモーション・グループ

イオンモールはこうした懸念を緩和する上で重要な役割を果たしています。2017年以来のEV100のメンバーであるイオンモールは、日本のほぼすべてのそのショッピングモールに充電スタンドを設置しており、2021年の初めにさらなる増設を計画しています。

EV充電スタンドはイオンモールにおける顧客体験のなかで重要性を増しつつあり、その急速充電器の使用率は過去5年間に一貫して増加を続けています。現在、こうした経験を受けて、イオンモールの新店舗は2基の急速充電器と通常充電器の設置を基本として導入、今後、これらの使用状況に基づき、設置拡大が予定されています。

長期的には、イオンモールは2030年までにその規模に応じ各モールに急速充電器を最高で17基設置することを計画しています。

彼らのアプローチの中心にあるのはイノベーションです。大阪の堺鉄砲町にあるイオンモールはVehicle to Home （V2H） テクノロジーを使った実験を行いました。EVの電池に充電された電気を、電気需要がピークの時のモールへの電力供給の一手段として活用する取り組みです。これに参加したモール利用者には、イオンモールの店舗で使用可能なポイントが送られます。

日本でEVへの切り替えが加速する中、イオンモールのようなEV100 の一員による先進的取り組みは、公共的充電設備が果たしうる、そしてすでに果たしている役割の重要性を確信させるものとなるでしょう。